



[ギャラリーVia701](#)



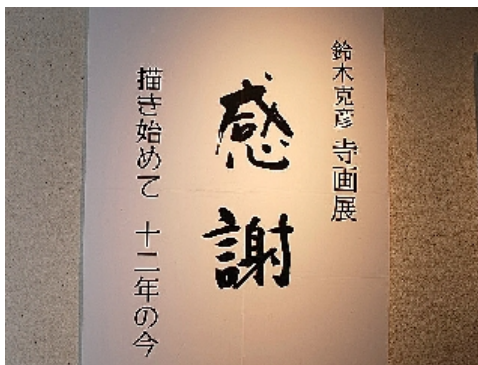
[会場入り口](#)

三島市内でお寺の住職さんに話を聞くイベントを開催している「みしまお寺めぐりの会」会長の鈴木克彦様(74歳)の水彩寺画展が三島市本町のギャラリーVia701で開催されましたので、令和元年8月23日に取材と観賞に行ってきました。
(展示期間は令和元年8/22~9/3マデ)

鈴木会長は16年前長野県のある蕎麦屋の「暖簾」(のれん)に心を惹かれスケッチしました。この暖簾を描いたことがきっかけで、三島の歴史文化が残る「お寺」を描こうと決め、現在に至っています。今まで38のお寺 150点を描かれました。今回の寺画展には37寺、66点が展示されています。



[鈴木克彦 会長](#)



[自筆の感謝](#)

お寺を描き始め12年、描いた絵はそのお寺様へ寄贈、そこで保存されています。今回のように寺画展を開催するにあたり数か月前から寄贈先のお寺様とコンタクトを取り、借用の願いをし寺画展の準備をされました。

寺画展会場入り口には、鈴木会長ご自身で書かれた「感謝」の文字が……とても印象的でした。



[会場内1](#)



[会場内2](#)

展示会場内に入ると、会場入り口から制作順に66作品が並んでいます。そして宗派に関係なく地元のお寺様を描かれています。全国の有名な寺院よりも、まず地元のお寺様を描かせて頂く事が私の使命と幾度となく話しておられ郷土愛を強く感じました。



展示品1



展示品2

どの絵を見ても 柔らかく神聖さが表現され、淡い色彩にもかかわらず描写が緻密でお寺さんに対する敬意を感じられました。

描くうえで苦労点もお有りのようです。春から夏にかけては寺院境内の樹木の葉が茂ってきて建物の一部を隠してしまうため描くのは秋から冬がベストシーズンのようです。



覚林院

写真左上は 覚林院さんの山門と本堂
写真右上は 高安寺さんの阿弥陀如来像

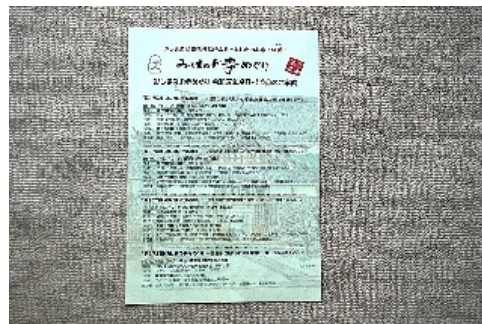


阿弥陀如来像



龍澤寺

写真左上は三島市沢地326番地にある、臨済宗妙心寺派の寺院、円通山 龍澤寺さんです。山門、鐘樓、本堂、客殿、全てが描かれ展示されていました。



三島お寺巡り 案内

<ご参考>

写真右上は「みしまお寺めぐり」令和元年・9月・10月のご案内、第175回～178回までの案内です。

お申し込みは事務局までお電話またはメールでお申し込みください

TEL: 090-8132-8394

mail: mishimanotera@poppy.ocn.ne.jp

詳しくは「みしまお寺めぐりの会」ホームページをご覧ください。

取材: 中伊豆地区 生きがい特派員 安藤智章